

第 11 回大学評価シンポジウム

< プログラム >

- 開催日時：2022（令和4）年3月3日（木）14:00～17:00
- 開催方法：オンライン（Zoom ウェビナー）
- 参加対象：大学評価委員会委員候補者・幹事、大学評価分科会委員登録者（2021～2022年度）、
大学財務評価分科会委員登録者（2021～2022年度）
- テーマ：基準4「教育課程・学習成果」－特色ある教育の充実と学習成果の向上につなげるために－

《開催趣旨》

大学基準協会は、10の基準で構成される大学基準において、教育実践に関する基準として「基準4 教育課程・学習成果」を設定しています。大学にとって教育は根幹をなすものであり大きなウェイトが置かれるものですが、現在、認証評価において重点項目として位置付けられている内部質保証の目的が「教育の充実と学習成果の向上」（『大学評価ハンドブック』p.3）である点に鑑みれば、「基準4」の持つ意義は極めて大きいといえます。すなわち基準2の内部質保証の評価においては、単に内部質保証の体制・手続といった形式的な部分に焦点を当てて評価するのではなく、各部局で実施される教育が適切になされ学生の学びを保証しているか、そのための組織的な取り組みとして教育の企画・立案から実施、検証、改善という一連のプロセスが適切に展開されているのかなど、「基準4」と関連付けて評価していくことが重要となります。さらに、教育には各大学の特色が特に反映されることから、単に法令順守の観点から評価するのではなく、各大学の理念・目的に即した評価をいかに実施し大学教育の充実に貢献していくかという点も認証評価の大きな役割といえます。

このように大学基準において重要であり、同時に評価の難しさもある「基準4」を改めて取り上げ、評価者間で認識を深めあおうとするのが今回のシンポジウムの目的です。学びの質保証等、大学の営為の適切性をどう評価していくか、各大学の特色に留意しつつどう評価するかについて、評価経験者から知見を共有して頂くほか、そもそも今日の大学において教育に求められることは何なのかにつき識者から話題提供も受け、根本から考えていく機会にしていきたいと考えます。

（敬称略）

5分 (14:00～14:05)	◆開会挨拶：工藤 潤（大学基準協会事務局長）
30分 (14:05～14:35)	◆基調講演：「教育課程・学習成果」 川嶋 太津夫（大学評価研究所一般研究員、 大阪大学高等教育・入試研究開発センター特任教授）
30分 (14:35～15:05)	◆評価経験者報告：「基準4「教育課程・学習成果」を評価するに当たって」 石堂 淳（大学評価委員会委員、岩手県立大学理事／副学長（教学担当） 高等教育推進センター長／総合政策学部教授）
30分 (15:05～15:35)	◆事務局説明：「基準4「教育課程・学習成果」の評価」 松坂 顕範（大学基準協会評価研究部企画・調査研究課課長）
10分 (15:35～15:45)	～ 休 憩 ～
75分 (15:45～17:00)	◆パネルディスカッション、参加者からの質問への回答 モデレーター：土居 希久（大学基準協会評価事業部部長） パネリスト：登壇者3名